

## 令和4年 関東柔道「形」競技大会要項

- 1 趣 旨 講道館柔道においては「形」と「乱取り」を修業することにより、技の理合を体得して柔道の奥義に進むことができる。  
特に、形は柔道技術の基本形態で攻防の原理を学ぶ心身研磨の道である。  
ここに、「形」の演技の更なる向上を目指し本競技大会を開催する。
- 2 主 催 関東柔道連合会
- 3 主 管 埼玉県柔道連盟
- 4 日 時 令和4年2月13日（日）正午開始  
受付：11時から11時30分まで  
順番抽選：11時30分から
- 5 会 場 埼玉県立武道館  
〒362-0032 埼玉県上尾市日の出 4-1877  
048-777-2400
- 6 競技種目 投の形 固の形 極の形 柔の形 講道館護身術  
五の形 古式の形
- 7 出場資格 (1) 各県から各「形」一組ずつ、計7組の代表選手とする。  
ただし、1人1種目の出場とする。  
(2) 出場選手は、当該県を通して、本年度全日本柔道連盟に登録を完了している者とする。  
(3) 出場選手は当該県に居住・勤務・在学のいずれかの条件を満たしている者とする。  
(4) 段位・年齢・性別等の制限はしないこととする。  
(5) 柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。紅帯、紅白帯は除く。演技中、規格外の柔道衣着用が判明した場合は失格とする。認証ラベルの色は、上衣、下穿のIJFラベル、全柔連認証番号ラベルは、共に赤のみ使用可とする。帯のIJFラベルは赤、青、全柔連認証番号ラベルは赤、黒共に使用可とする。黒帯は白線入り帯も可とする。背部にゼッケン（苗字を3分の2、県名を3分の1の割合で表示）を縫い付ける。  
(6) 出場選手は、講道館の段位とし、段位に応じた帯を締める。  
(7) 前回実施の令和3年関東柔道「形」競技大会において其々の種目で優勝の六組は、枠外で出場できる。ただし、受取を変える事はできない。同じ種目の条件とする。
- 8 表 彰 各形の種目ごとの入賞者（優勝・準優勝・第三位）を表彰する。
- 9 審査方法 「講道館柔道形競技規定」に準ずる。

詳細については、本大会申し合わせ事項に従う。

- 10 審査員 各県 2 名（主管県は審査委員長を含め 3 名・不足がある場合は主管県が充当）
- 11 旅費等 出場者、審査員の旅費等については、各県の負担とする。
- 12 申込等 (1) 各県柔道連盟は、各「形」ごとに代表選手を選出し、所定の申込用紙に必要事項を記入し提出する。あわせて、「審査員報告書」「各県役員申込書」を提出すること。
- (2) 申込締切 令和 4 年 1 月 31 日（月）までに関東柔道連合会事務局に提出  
※審査員・役員・係員の申込もあわせて行うこと。  
（メールと紙ベースの申込用紙の両方提出）  
※選手・審査員・役員・係員の変更は大会前日までとし主管県（埼玉県）事務局に変更届を提出すること。ただし、大会当日の受付時に 2 週間分の健康記録表を提出できること。
- (3) 参加料 各組 2, 000 円とし、当日受け付る。
- 13 その他 (1) 出場選手および審査員は、本要項および「講道館柔道形競技規定」を確認すること。
- (2) 各種目の優勝者は、令和 4 年 6 月 11 日（土）講道館で行われる「全日本柔道形競技大会」への出場権を得る。